

# 令和7年1月21日 会頭記者会見 発言要旨

## ■中小企業支援について

信用調査会社によれば、昨年京都府内の倒産件数が過去10年で最多となり、サービス業や飲食店を含む小売業、建設業が目立っています。コロナ禍に増えた借入れの返済や高止まりする原材料・燃料価格といったコスト増、人手不足などが原因と考えられます。

本所では、厳しい経営環境に直面する中小企業に対して、金融調整を含めた事業再生や倒産回避に向けた支援を、経営安定特別相談室や京都府中小企業活性化協議会で行ってきたところです。

今年度は、いずれの取り組みにおいても相談案件が前年より増加して推移しており、セーフティネットとしての役割の重要性が増しているものと思います。一時的なリスケジュール支援では対応が難しく、廃業を選択せざるを得ない相談が増えています。今後は金利の上昇から、経営者の不安が一層高まることを見込まれます。少しでも早めに対処できるよう、厳しい状況にある経営者の皆様には、一刻も早く相談いただきたいと思います。

今、コロナ禍を経て、デジタル化の進展とともに、生活様式や価値観が大きく変化し、消費行動は多様化、複雑化しています。大きく変化する社会ニーズに機敏に対応していくために、企業においては提供価値を再設計し、デジタル化や省力化による生産性向上など、新事業展開や自己変革を進めなければなりません。

本所の中小企業支援は従来、ひとつの企業に対して通常、一人の経営支援員が担当しておりましたが、経営課題が高度化、専門化する中で、一人での対応が難しくなっています。得意分野の異なる複数の職員がさまざまな意見を出し合い、また法律や税務、ITなど課題に応じた専門家の力も借りながら、61名の経営支援員を中心として、職員が一丸となって、事業者の自己変革を促し、応援してまいります。

## ■KYOTO NEXT AWARD の実施について

本日より募集を開始いたします「KYOTO Next Award 2025」についてご説明します。「KYOTO Next Award」は、社会課題解決に貢献し、次の時代の京都ブランドとして期待される取り組みや担い手を発掘・表彰・支援するものです。主催は京都府、京都市、本所で構成する「京都ブランド推進連絡協議会」です。

2回目となる「KYOTO Next Award 2025」では、受賞者の支援を強化するため、従来の活動助成金を「ブランド化サポート資金」に改め、総額400万円に増額しました。受賞時に総額200万円、その後の支援に総額200万円を交付します。

また受賞者に対しては、京都府、京都市、本所が協力し、「オール京都」で課題解決や成長につながるビジネスマッチングや広報協力など、サポートをしてまいります。

2023年の第1回では、京都府笠置町で獣害解決を目指し、自ら鹿を捕獲・解体して肉から骨、皮まで余すことなく販売する「株式会社リ・ソーシャル」を最優秀賞に選出しました。本所はビジネスマッチングや広報協力で支援し、「燻製鹿肉ジャーキー」がバスケットボール京都ハンナリーズの試合会場で販売されるなど、販路拡大につながってきたところです。

京都の新しい魅力を創造・発信し、地域の活性化やブランド構築につながる取り組みを幅広く対象にしております。マスコミの皆様におかれましては、周知広報にご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ■知恵-1・グランプリ について

京都の地域特性や企業の強みを活かして新しい顧客を創造するビジネスプランを認定・表彰する「知恵-1・グランプリ」は、3月4日にファイナルステージを開催いたします。今年度、5回目となります。

昨年のチャレンジ部門の受賞企業には、専門家を交えてビジネスプランの実現に向けた課題の洗い出しや、進捗確認のための戦略会議を実施しており、効果的な情報発信や新規顧客開拓など担当経営支援員の伴走支援で、売上がアップした事例も出ております。

今回は、知恵ビジネスのすそ野を広げるべく、新しい取り組みを発掘する「チャレンジ部門」で、グランプリ2社と優秀賞4社を選出いたしました。伝統産業やものづくり分野など、顧客や社会ニーズに対応したビジネスプランをファイナルステージで発表いただきます。

また過去に京都府・京都市、各団体で知恵の認証・認定を受けた企業には、「京都リレーションシップ」で企業間連携や交流促進による新たな知恵ビジネスの展開を図ってまいりました。これらの企業を対象とした「イノベーション部門」と「コラボレーション部門」は、ファイナルステージ当日に公開プレゼン審査を行い、その場で決定いたします。表彰式もございますので、ぜひ取材をお願いいたします。

## ■大阪・関西万博について

大阪・関西万博の開幕まで82日となりました。先月、会場の夢洲を視察してまいりましたが、準備は着実に進んでおります。

年末には関西パビリオン京都ブースの詳細が公表され、本所が支援する企業が「京都・知恵アントレ大賞」受賞者を中心に5社、7月13日からの1週間、出展予定です。

パビリオンの抽選申し込みも始まり、公式ホームページには、各パビリオンの情報が続々と公開されております。マスコミの皆様には、ぜひとも万博への期待が高まる報道をいただきますよう、お願いいたします。